

## 2 学生教育の概要について

**沿革** 昭和9年 山口県立牟礼農民道場  
 昭和21年 山口県立修練道場  
 昭和25年 山口県立経営伝習農場  
 昭和46年 山口県営農技術研修所  
 昭和59年 山口県立農業大学校  
 平成19年 学校教育法に基づく専修学校として登録

**教育方針** 本県農業の振興方針に基づき、先端技術を活用し、講義、演習、実習を有機的に結合した実践的な学修をとおして、中核経営体や産地に就業する担い手及び地域農業の振興に指導的役割を果たす、創造力と実践力豊かな即戦力となる人材を育成する。

**教育目標** 教育方針のもとに、卒業までにどのような力を身に付けさせるかを定めた基本方針として、次に掲げる事項を教育目標とする。

- (1) 就業先の実情を踏まえた実践的な知識・技術の育成
- (2) 進展著しい先端技術への対応能力の育成
- (3) 法人の中核を担うための経営管理能力の育成
- (4) 地域の活性化に資する知識・技術の育成
- (5) コミュニケーション能力やマナー等の豊かな人間性の育成

### 定員

学科	専攻	定員	修業年限
園芸学科	野菜経営コース	25人	2年
	花き経営コース		
	果樹経営コース		
畜産学科	酪農経営コース	15人	
	肉用牛経営コース		

### 入学状況

定員充足率は80%（園芸学科が82%、畜産学科が76%）

		H29	H30	H31	R2	R3	平均
入学者数		31	29	36	28	34	31.6
農業高校出身者数		21	18	28	16	19	20.4
園芸	野菜	9	8	10	10	10	9.4
	花き	6	4	7	4	4	5.0
	果樹	6	5	6	4	8	5.8
	小計	21	17	23	18	22	20.2
畜産	酪農	7	5	7	5	7	6.2
	肉用牛	3	7	6	5	5	5.2
	小計	10	12	13	10	12	11.4

令和3年4月1日現在

## 学修内容

- 2年間で2,645時間、専攻ごとに専門的な講義や実習
- 1年生は「生産プロジェクト」、2年生は「経営プロジェクト」を実施
- 農家体験研修（1年：5日間）、先進農家等派遣研修（2年生：1か月）、短期研修（希望者：随時）を実施

## 卒業後の進路

卒業後は、「専門士(農業課程)」の称号が与えられる。

- 自営就農（国内外の就農研修施設や先進農家で研修後就農する者を含む）
- 農業法人への就業
- J A（農業指導職等）へ就職
- その他県連企業へ就職（農機具販売会社、青果物卸売業者、酪農組合ヘルパー、園芸店等）
- 進学（4年制大学の農学系学部への編入）

## 就農状況等

○過去5年の就農割合は67.3%（農業法人就職含む）

	H28	H29	H30	R1	R2	5年平均
就農(研修後就農含む)	20	18	19	20	<b>24</b>	<b>20.2</b>
(うち農業法人)	(15)	(14)	(18)	(17)	<b>(22)</b>	<b>(17.2)</b>
就農率(%)	69.0	64.3	61.3	74.1	<b>68.6</b>	<b>67.3</b>
就職	9	9	12	6	<b>10</b>	<b>9.2</b>
農業関連企業等	6	8	11	5	<b>10</b>	<b>8.0</b>
(うち農業指導職)	(2)	(6)	(4)	(2)	<b>(5)</b>	<b>(3.8)</b>
関連企業就職率(%)	20.7	28.6	35.5	18.5	<b>28.6</b>	<b>26.6</b>
他産業等	3	1	1	1	<b>0</b>	<b>1.2</b>
進学	0	1	0	1	<b>1</b>	<b>0.6</b>
卒業生数	29	28	31	27	<b>35</b>	<b>30.0</b>

## 必要経費（令和3年度入学時）

入学金	無料
授業料	128,140円/年
寮費	8,400円/年
食費	280,000円/年
育友会費	65,000円/年
教材費	60,000円（2年分）
実習服等	50,000～ 70,000円（入学時）
傷害保険料	17,470円（2年分）

※経済的理由等による授業料減免措置があります。

（R2年度から国の修学支援制度活用）

※教材費、実習服等、傷害保険料は参考金額です。

※各種資格、免許等取得費用が別途必要です。